

令和2年度 事業計画

I 基本方針

少子高齢化が急速に進むなかで労働力人口は減少し続けており、地域社会や産業の担い手不足による地域の活力低下が懸念されています。

このような中で高齢者が可能な限り地域の担い手として活躍し、年齢に関わりなく働くことができる「生涯現役社会」の実現がますます重要となっています。国がまとめた「経済政策の方向性に関する中間整理」においても、高齢者の就業促進が柱の一つとして盛り込まれています。

こうした社会経済情勢の中、働く意欲のある高齢者に就業機会を確保・提供するシルバー人材センターの果たす役割と取り組みは一層大きくなっています。

しかしながら、企業の定年延長や継続雇用等の影響もあり、全国的な傾向として会員の減少や平均年齢の上昇が続いており、当センターにおいても同様な状況です。

令和元年度の契約実績は、①少雪による雪下ろし作業の受注減、②会員不足による福祉事業の受注減、③災害復旧関連の受注減の影響により、前年度を下回る結果になってしまいました。会員数が減少傾向にあるために就業の依頼があってもそれに十分応えられないことや、会員の就業ニーズの多様化等により就業に結びつかない状況が発生しており、会員増加への取り組みが喫緊の課題となっています。引き続き一人一会員入会運動等各種施策に重点的に取り組み、会員の拡大と併せて資質の向上を図ってまいります。

また、国の補助制度である高齢者活用・現役世代雇用サポート事業等を活用し、地域ニーズに柔軟に応えられる体制を構築し、シルバー事業の基本である請負就業の適正化を進めるほか、派遣事業への切り替えを積極的に行ってまいります。

「安全はすべてに優先する」という安全就業の原点をもう一度確認し、会員の安全意識の向上を図り「事故ゼロ」を目指します。

今年度は、第3期中期5ヵ年計画（令和2年度～令和6年度）の初年度にあたります。計画の基本目標を「自分が輝き、地域に貢献し、信頼されるセンターを目指して」とし、会員の増加と資質の向上、就業機会の増加と確保、安全・適正就業の徹底、普及啓発活動の強化、組織運営体制の強化と充実を図ってまいります。

そして公益法人としての公益性、透明性を確保しながら堅実な運営に努めるとともに、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、協働・共助」のもと、ますます地域から信頼されるセンターとなるよう努めてまいります。

II 事業実施計画

1. 就業機会提供事業

(1) 受託事業

希望に応じて臨時的、短期的な就業またはその他の軽易な業務を会員へ提供することを目的としています。シルバー人材センター事業の基本である「請負・委任」形式の就業となるよう、適正就業ガイドラインに沿って受注していきます。

(2) 独自事業

しめ縄・門松の製作と販売拡大を図ります。講習会等通じて後継者の育成に努めるとともに、職群班としての業務の拡大に努めます。

また、刃物とぎ、のぼり旗、横断幕作製等の事業を推進していきます。

(3) 指定管理事業

引き続き、飯山市屋内運動場の指定管理事業を受託します。

2. 就業機会確保・雇用サポート事業

(1) 安全・適正就業事業

- ① 安全就業推進員を置き重篤事故の防止と事故の撲滅を目指し、「危険ゼロ」を重点目標とし、「安全ミーティングの完全実施」「安全装備使用の徹底」「安全バッチの着用」「健康診断受診及び健康体操の奨励」を図り、会員の安全意識の高揚及び安全就業の推進に努めます。
- ② 安全委員会、安全推進委員とともに就業現場の安全パトロールを実施し、安全についての注意喚起を行い、会員の事故防止の強化に努めます。
- ③ 就業途上の交通事故防止の徹底を図ります。
- ④ 安全就業、交通安全に関する各種講習会を実施します。
- ⑤ 高所作業において使用される安全帯が「墜落防止用具」に変わり、安全・安心な作業を進めるため、使用方法の指導推進に努めます。
- ⑥ 長野県シルバー人材センター連合会主催の安全・適正就業推進大会へ参加し、安全・適正就業に関する意識の向上に努めます。
- ⑦ 適正就業検討委員会を開催して、適正就業に関する要綱に基づくワークショップ、ローテーション就業の取り組みを推進し、適正就業ガイドラインの啓発とあわせ派遣への切り替えを進めます。

(2) 普及啓発事業

- ① 全国一斉事業の普及啓発月間（10月）を中心に、全市・村的行事をとらえ、チラシ等配布、正月飾りの注文受付等を実施して普及啓発に努めます。

- ② 全会員参加で地域班、職群班等による地域へのボランティア活動を実施し、シルバー人材センター事業の普及啓発に努めます。
- ③ 飯山市、木島平村全世帯向けに、会報「シルバー飯山地域」を発行します。
- ④ 地元新聞や市・村広報誌、ホームページ等積極的に活用してPRを図ります。
- ⑤ 会員向け情報紙「かわら版」を発行し、就業情報の提供や会員の安全についての意識啓発を行います。
- ⑥ アンテナショップ「シルバーしろかね」を活用して、シルバー事業の宣伝、会員拡大を推進します。

(3) 就業開拓事業

- ① 自治体、民間事業所等を積極的に訪問し、シルバー人材センター事業の理解を得るとともに、就業機会の確保と新規事業の開拓に努めます。
- ② 入会説明会を毎月開催して会員の拡大に努め機能強化を図ります。木島平村での入会説明会を実施します。
- ③ 職群班「観光ガイド班」「庭木整姿班」「冬囲い班」「除雪班」の活動を促進し、新たな職群班の結成を目指し「自主・自立、共働・共助」の基本理念の実践に努めます。
- ④ 会員や地域住民向けの研修の場を設け、技能作業の後継者育成や会員の資質の向上、会員の拡大に努めます。
- ⑤ 会員の多様な知識・経験を生かす企画・独自事業の開発を検討します。

(4) 調査研究事業

今後の事業推進に資するため、先進地シルバー人材センターの調査研究を行います。

(5) 労働者派遣事業

多様な就業ニーズに対応した指揮命令のある職域での就業機会の確保と受託事業の適正な就業を確保するため、派遣就業への切り替えや新規就業の受注を推進します。

(6) 職業紹介事業

臨時的かつ短期的な仕事又はその他軽易な業務に係る雇用を希望する高齢者を対象に、有料の職業紹介による就業機会の提供を行います。

(7) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

就業機会の拡大、会員の拡大及び高齢者の多様な就業ニーズに対応するためコーディネーターを雇用し、人手不足分野や介護、育児分野等の現役世代

を支える分野で発注者、会員の開拓、仕事のマッチング等を行い、就業機会を開拓提供するとともに派遣会員の教育訓練等を行います。

(8) シルバーしろかね運営事業

アンテナショップ「シルバーしろかね」は、飯山市からの委託事業として街中観光案内を強化し、併せて会員の手作り作品、野菜等の販売を行います。また新たに独自商品の開発、販売にも取り組みます。

3. 高齢者活躍人材確保育成事業

長野県シルバー人材センター連合会が実施主体となり、高年齢者にサービス業等の人手不足分野や現役世代を支える分野で就業の機会を提供するため、当該分野での就業に必要な能力を身に付けさせるための広報活動や就業体験を実施します。

4. 公益法人運営事業

- (1) 理事会、専門部会等の組織運営を充実していきます。
- (2) 市・村を訪問して事業説明を行い、補助金の確保要請活動を行います。
- (3) 最低賃金の引き上げ等に伴い配分金額の見直しを行います。
- (4) 財政状況を見ながら事務費率、会費について検討します。
- (5) 地域班会議及び連絡員会議等を通じて会員、役員、事務局との情報交換を行い会員のシルバー人材センター事業への意識高揚に努めるとともに、会員の意見や要望を事業運営に反映させることに努めます。
- (6) 会員による一人一会員入会運動を推進し、会員の拡大に努めます。
- (7) マナー研修会等を開催し、会員の資質向上を図り、センターの信頼性の向上に努めます。
- (8) 公益法人として地域貢献活動に積極的に取り組みます。
- (9) 会員互助会主催のシルバー祭りに協力し、シルバー事業の周知と会員拡大、会員相互の親睦を深めます。
- (10) 設立30周年記念事業（令和3年度）の実施に向け、準備委員会を設置し、開催時期、内容などの検討を行います。